

## 週間国際経済 2024 (25) No.399 09/01~09/14

- 09/01・円の上げ幅2ヶ月で16円 企業、国内に資金還流 生保、為替ヘッジ意識 <1>  
・中国、止まらぬデフレ輸出 鋼材など6割の品目価格下落 内需低迷で過剰在庫
- 09/02・イスラエル大規模デモ 人質解放・停戦、首相に要求  
・尹政権に国会運営の壁 与党、医療改革足並み合わず 野党、対日姿勢に批判  
・ドイツ州議選 極右が第一党 東部チューリンゲン 反移民訴え 与党敗北
- 09/03・米利下げ期待「強すぎ」懸念 年内1%市場織り込む 雇用統計で相場急変も<2>  
・VW、独工場の閉鎖検討 1937年の設立以来初 中国勢EVに苦戦  
・日鉄のUSスチール買収 ハリス氏、反対を示唆 「米で所有・運営を」
- 09/04・BYD、メキシコ投資凍結 米大統領選終了まで トランプ氏警戒  
・エヌビディア41兆円消失 時価総額1日で米史上最大 米株626ドル安 <3>  
景気懸念拡大 日経平均一時1500円超安 リスク回避、半導体など売り
- 09/05・世界株回復にブレーキ 景気不安が再燃 原油、欧米で年初来安値 <4>  
半導体株、重なる悪材料 「AI懐疑の芽」「景気懸念」  
・貿易の銀行決済即時に ブロックチェーン技術 3メガ銀、来年実用化  
・実質賃金2ヶ月連続増 7月0.4%増、夏の賞与伸び
- 09/06・ハリス氏「起業時控除10倍」税額減免、最大5万ドルに 追加経済政策  
キャピタルゲイン課税 富裕層、28%に上げ  
・トランプ氏「法人税15%」 大統領選へ減税公約  
・消費支出0.1%増 7月実質 3ヶ月ぶりプラス  
・円、3日で4円急騰 一時142円台 米雇用統計前に荒い値動き <5>
- 09/07・米雇用14.2万人増 8月 市場予想下回る 失業率は4.2%に低下  
・原油、年初来安値70ドル割れ OPECプラス増産延期も 需要が鈍化 <6>  
・NY株、週間1217ドル安 1年半ぶり下げ幅 テック売り再燃  
・トランプ氏、製造業に減税 国内生産で法人税率15%に 増税のハリス氏に対抗
- 09/08・米雇用、急減速は回避 失業率、予測通り低下 FRB理事、0.25%利下げ示唆  
市場、景気不安なお 円一時141円台 日本株に下落圧力
- 09/09・経常黒字3.1兆円 7月として最大 投資収益増や円安で
- 09/10・グーグル、広告も独禁法訴訟 検索に続き分割迫られる
- 09/11・アップル2兆円追徴判決 欧州司法裁 アイルランド訴訟巡り税優遇認めず  
・中国勢、再生エネも上位独占 太陽光・風力 世界で支配力 23年シェア <7>
- 09/12・米大統領選討論会 ハリス氏・トランプ氏 初の直接対決 経済・外交論戦100分  
経済 ハリス氏「関税はトランプ消費税」 トランプ氏「史上最悪のインフレだ」  
内政 「中絶反対は女性侮辱」、「不法移民は犯罪者」  
外交 「ロシアに利用される」、「戦争すぐ終わらせる」

09/13・EV 関税 中国の提案拒否 EU「価格面の約束不十分」

- ・欧州中銀 0.25%利下げ 世界で緩和相次ぐ インフレ鈍化 <8>

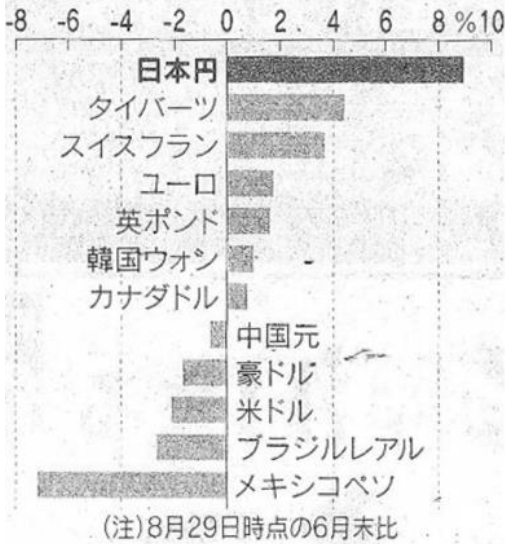
09/14・中国、定年 3~5 歳上げ 細る労働力、膨らむ年金給付 70 年ぶり見直し <9>

若者失業率悪化の懸念

- ・新興国通貨にマネー流入 対ドル、アジアで上昇目立つ 米利下げ意識
- ・対中制裁関税 27 日に上げ 米、EV は 4 倍の 100%
- ・米共和党副大統領候補バンス氏 ウクライナは「中立国に」 NATO 加盟認めず

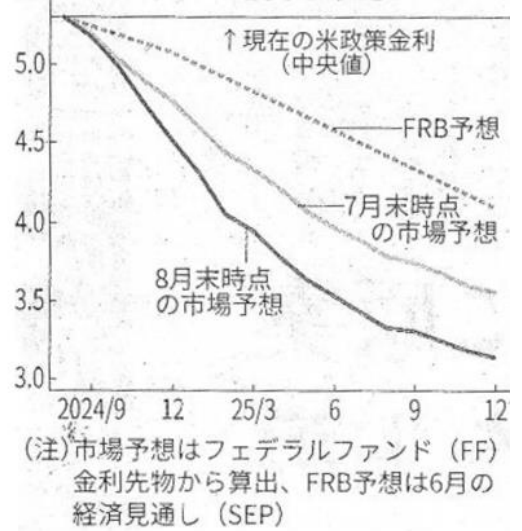
<1>

7~8月は円の上昇が突出した  
(日経通貨インデックスの騰落率)



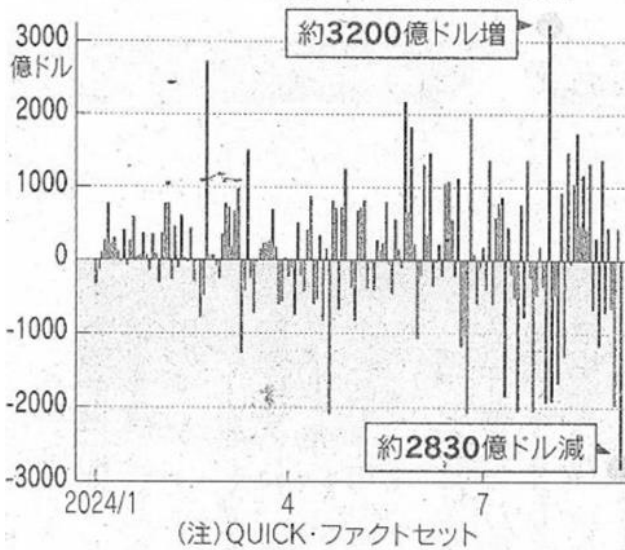
<2>

市場はFRBよりも急激な  
利下げ動向を予想



<3>

エヌビディア時価総額の日次増減額



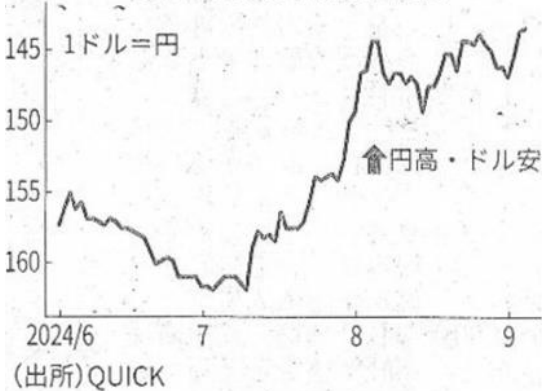
<4>

世界の株価回復にブレーキ



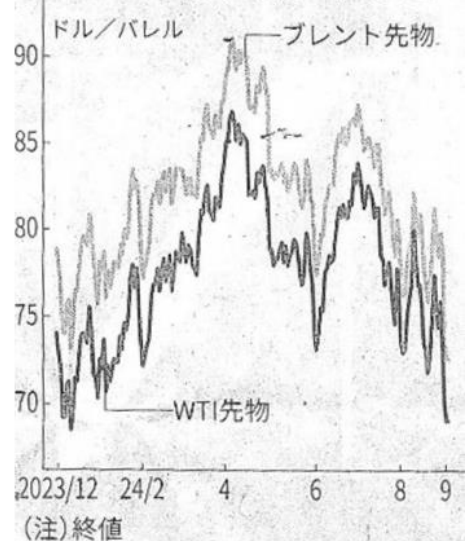
<5>

足元で再び円高が進行



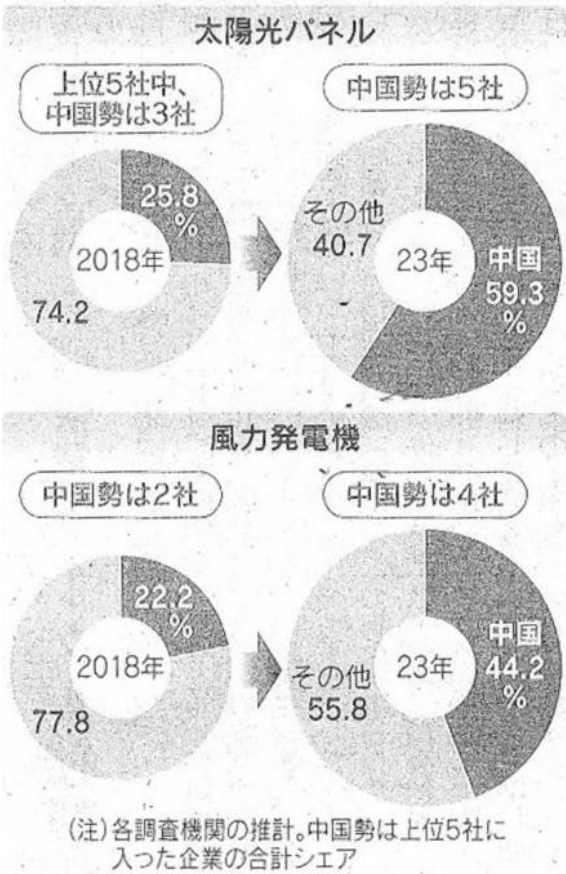
<6>

原油価格は年初来安値圏



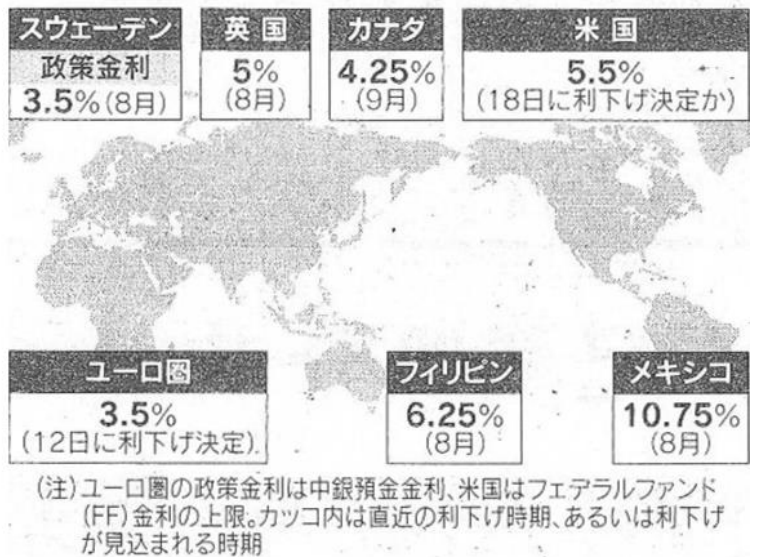
<7>

再生可能エネルギー分野で中国勢が躍進



<8>

先進国、新興国共に利下げラッシュに



<9>

中国の法定退職年齢

段階的に引き上げ

男性	60歳	→	63歳
女性	50歳	→	55歳
女性(幹部)	55歳	→	58歳

(注)15年後に全員に適用完了

中国の高齢化率と生産年齢人口

